

## 令和元年度幸田町行財政改善調査会の開催結果について

- 1 開催日時 令和2年2月5日（水）午前9時30分から午前11時20分まで
- 2 開催場所 役場3階 庁議室
- 3 内 容

### 【会長挨拶】

幸田町行財政改善調査会は規則により設置されている。社会経済情勢の変化に対応し、幸田町行財政の簡素にして効率的運用及び住民サービスと事務能率の向上を図るため、幸田町行財政改善調査会を設置している。地方公共団体を取り巻く状況は近年、大きく変化。そのような中でも住民サービスの向上などを図っていくことが必要。本日の進捗状況報告について、委員の皆様から貴重な意見を伺うことで、さらに住民が安心していつまでも住み続けたいまちにつながることを思っている。

### 【町長挨拶】

幸田町の行財政について、委員の方に改めていろいろと意見をお聞きしたい。現在、23区の各区に出向いて懇談会を実施している。その中でふるさと納税の話題が多い。幸田町はふるさと納税が順調であり41億円の収入がある見込みになっている。町として今は当初予算編成の時期で、おそらく一般会計約180億円程度の過去最大予算となる見込み。その中には幼児教育の無償化、出産子育ての手当て、高校生までの医療の無料化の国の流れがあり、町の歳出となる。幸田町の行政改革の将来の方向性について意見を聞く機会である。

### 【議事】

資料の要点（資料の見方、数値目標等修正部分、達成、未達成、資料訂正）について、事務局から一通り説明（合計20分）

### 【主な質疑】

（委員） 政策の中で、より多くの住民が恩恵を受けられるようなものをお願いしたい。例えばゴミ袋の値下げのようなこと。

<町長> 岡崎に藤田医科大学病院ができることにより最寄りに総合病院ができることとなる。一つ目の施策として総合病院までの公共交通をはやく確立しなければならないと考えている。二つ目として坂崎学区で考えているが福祉の拠点づくりをしていきたい。三つ目として三ヶ根駅のバリアフリー化、周辺地域の活性化をしていきたい。四つ目は菱池遊水地の上面利用を含めた整備。五つ目として消防署の横に24時間安全テラスセンターを設置する。

（委員） 人工透析で町と個人それぞれの程度負担しているのか。町内に糖尿病患者はどのくらいいるのか。

<事務局> 人工透析患者数について国民健康保険加入者で17,18名程度いる。昨年

度から病院と連携して、数值的に人工透析になりそうな方を対象に個別に指導に入っている。負担額については所得に応じて違いがある。個人負担額は約 1 万円程度である。

(委員) 計画番号 13 について再振込とは間違えて振込んでしまい再度振込むということか。

<事務局> 再振込について、記載ミスや口座番号が違っていた場合の件数である。

(委員) 目標が件数となっているが率で記載するべきではないのか。目標設定は内容の濃いものにしていただきたい。

(委員) 今回の趣旨はどの程度進んでいるかということである。結果論ばかりでチャレンジが見えてこない。委員が現場及び現状を見た上で会議に出席したい。

希望ではあるが会議について公開できる場を設けてはどうかと思う。

<事務局> 年に 1 回の会議であり委員の方にわかりやすく数字で示した。根拠となる資料がある場合には示せるように検討していきたい。公開につきましては、事務局の方で精査して改めて回答したい。

(委員) 行革、事務改善等の職員のみで構成されている組織があると思うが、それを委員に対してフィードバックしてみてもどうか。

<事務局> 関係部課長を対象に行財政事務改善委員会があるが、策定の際に実施している。

今回の資料は各部署にヒアリングをして作成している。

(委員) 職員の委員会の資料等を見せてもらうことは可能なのか。

<事務局> 今回の進捗説明会をするにあたっての委員会は行っていない。

(委員) 住民窓口のレイアウトが曲線になりとてもいい印象を受けた。また職員の対応がとてもよく印象が良い。

計画番号 23 下水道課の企業会計移行、計画番号 34 計画書等の公表率はすでに実施できており目標達成できたことになる。目標達成したのに対しては維持していくのか、もしくはさらに改善していくのか。

<事務局> 達成できているものに対しては維持することは最低限守っていききたい。さらに改善できる場所に関しては改善していきたい。

下水道課の企業会計移行も一部企業会計に移動したのみで全体を移動できるようにさらなるチャレンジをしていきたい。

(委員) 計画番号26の企業へのヒアリングについて件数のみの実績であり成果がどうなのかが知りたい。

<事務局> 企業訪問しなければ成果につながらない。しかし、成果が示されていないことはわかりにくいため今後目標設定を検討していきたい。

(委員) 現在高齢になる方の施策は理解できたが、これから高齢になっていく方が

健康を維持したまま高齢になれるような施策はあるのか。

タウンプロモーションで効果及び反響はあったのか。定住につながってきているのかを見ながら進めていただきたい。

各種セキュリティ研修が100%ではないことが問題である。情報系の問題では1人がセキュリティを守らないことで大きな事故に繋がる。どのような対策がなされているのか。

<事務局> 健康寿命については健康福祉部が取り組んでいる。健康課を中心に講座等を開催している。シニアの方が活躍できるように支援ができるようなサポートセンターを検討している。

現在祭り等の動画を撮影して編集しSNSにアップしている。幸田町のことを少しでも知ってもらうために若手なりの視点で情報発信をしている。情報発信をして、幸田町に魅力を感じ、定住につながるように努めていきたい。

セキュリティ研修で95%は決して高くなく100%があたりまえになるようにしていきたい。セキュリティ対策としてはメール送信時にポップアップが出てきて宛先が正しいか等の2重チェックができるようになっている。また、添付ファイルを受信時はネット回線が2つに分かれており、一般のメールに関しては一方の空間を通して確認している。

<町長> 日頃からの健康づくりのために施設づくりは重要と考える。地域で助け合う組織をつくる等が必要である。

タウンプロモーション事業としては、よしもと映画を撮影している。住民参加型の映画である。出演者が町民のおもてなしが良かったとSNSで発信して拡散していただけた。

(委員) 幸田女性の会の位置づけについて。ボランティア活動なのか立ち位置がわからなくなっている。町のホームページで活動内容をあげることは可能か。女性の会で推進する事業を絞らないと忙しいだけで何をしているかわからない団体になってしまう。

駅周辺の商業施設の活性化について。特に家族でいけるような飲食店ができると思う。

<町長> 女性の会の会員は3000人近くいる。しかし、23区あるうちの7区のみが女性の会を結成している。坂崎区から脱退したいと申し出があった。女性の会の活躍のために出役報酬を出していきたい。幸田町全体の女性の会を結束して維持していきたいと考える。しかし、現状うまくいっていない。もう一度存続のかたちを考えていきたい。

(会長) 最後に一言意見があればお願いします。

(委員) 個人的な感想かもしれないが、物事の考え方についてお金の発想、事務手

続等に関して、住民の立場ではなく行政の立ち位置ばかりを基準に接する職員がいる。1階はソフトな線形になり職員の対応が良いという意見もありました。しかし、2階、3階はどうでしょうか。物事の考え方、基準について住民の価値観で対応していただければいいが「我々はこの基準のためできません。」と対応されたことがある。お金に関しては町のお金は自分のお金と勘違いしているように感じることもある。補助金についても「あげる、あげられない。」と回答するなど自分のお金のような感覚で物事を考えているように感じる。そのあたりを改めていただきたい。